

II. 調查結果

Ⅱ. 調査結果

1. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果の総括

福岡市は、市民100人のうち、

98人が「福岡市のことが好き」で

97人が「福岡市は住みやすい」と感じ

93人が「福岡市にずっと住み続けたい」と願い

78人が「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」と思っている。

福岡市民は、福岡市のことが好き
住みやすくて、このままずっと住み続けたい
そして、みんなの役に立ちたい

福岡市は、人の優しさを感じて
心が豊かになれる都市です

本意識調査では、「好き」「住みやすい」「ずっと住み続けたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」の主要指標を毎年継続的に調査し、経年変化を比較分析してきた。

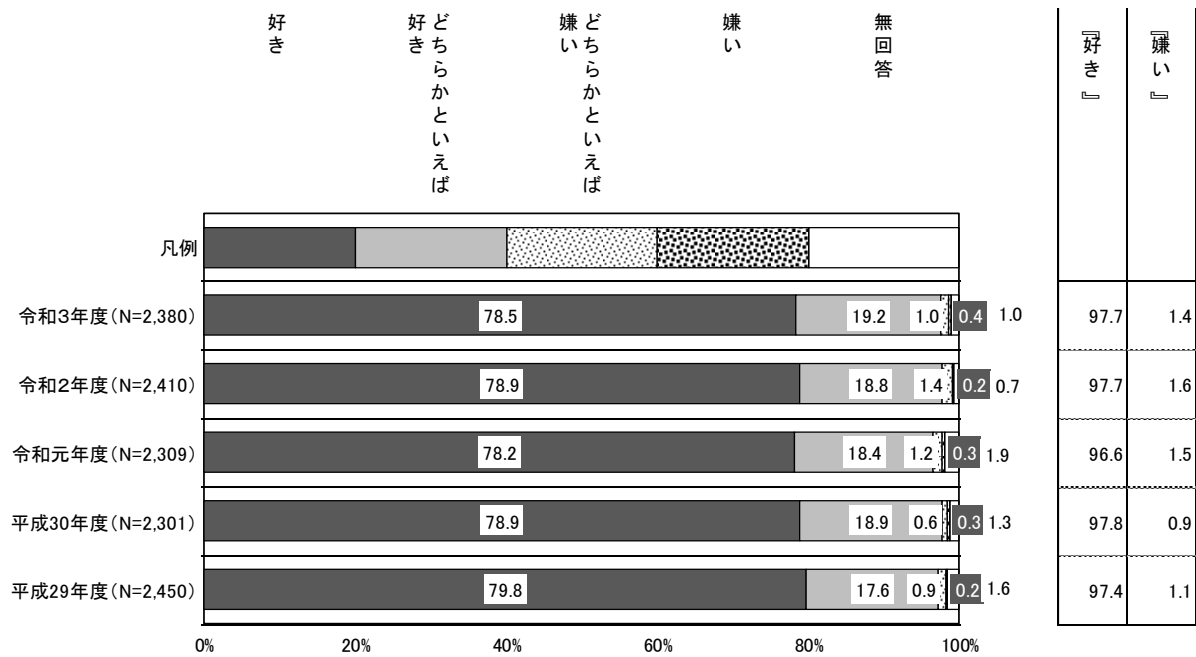
「好き」「住みやすい」「ずっと住み続けたい」とも、例年肯定派が9割を超える高水準で推移しており、今年度も同様の結果となっていると同時に、「ずっと住み続けたい」と答えた人は過去最高となった。

(1) 福岡市の暮らしに関する「4指標」の推移

「福岡市が好き」「福岡市が住みやすい」「福岡市にずっと住み続けたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」という4つの結果指標（以下、4指標という）についてみる。

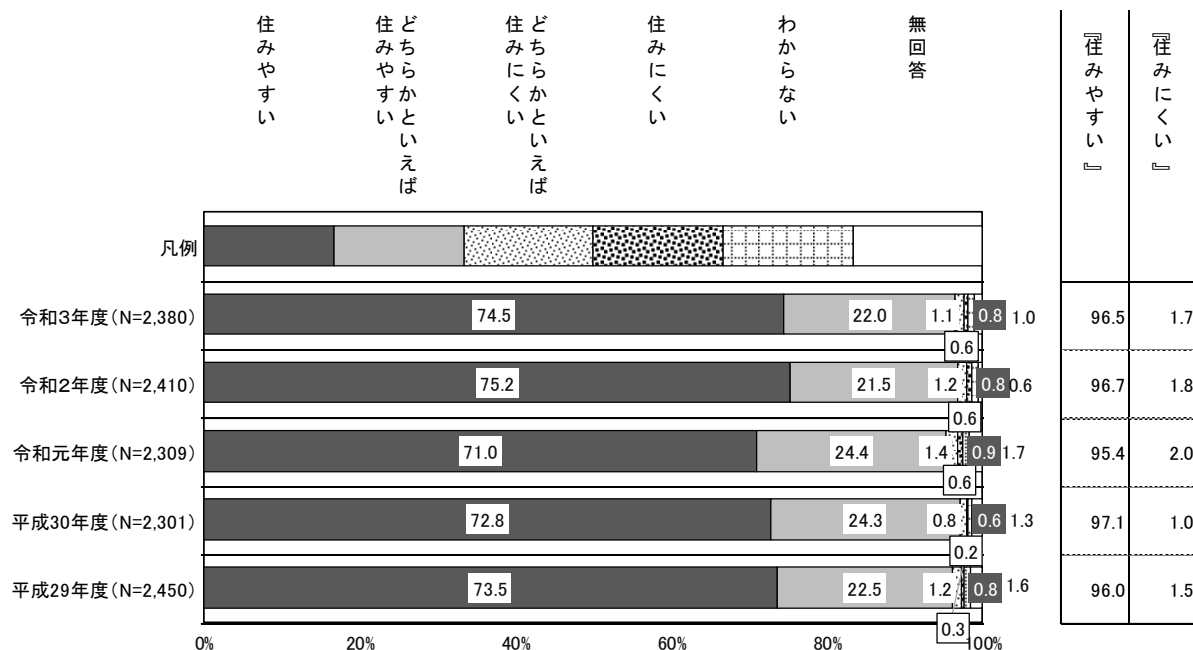
「福岡市が好き」については、肯定派（＝「好き」＋「どちらかといえば好き」の計）が97.7%となり、過去の調査から一貫して高い水準を維持している。

図表 福岡市が好きか【過去の調査との比較】



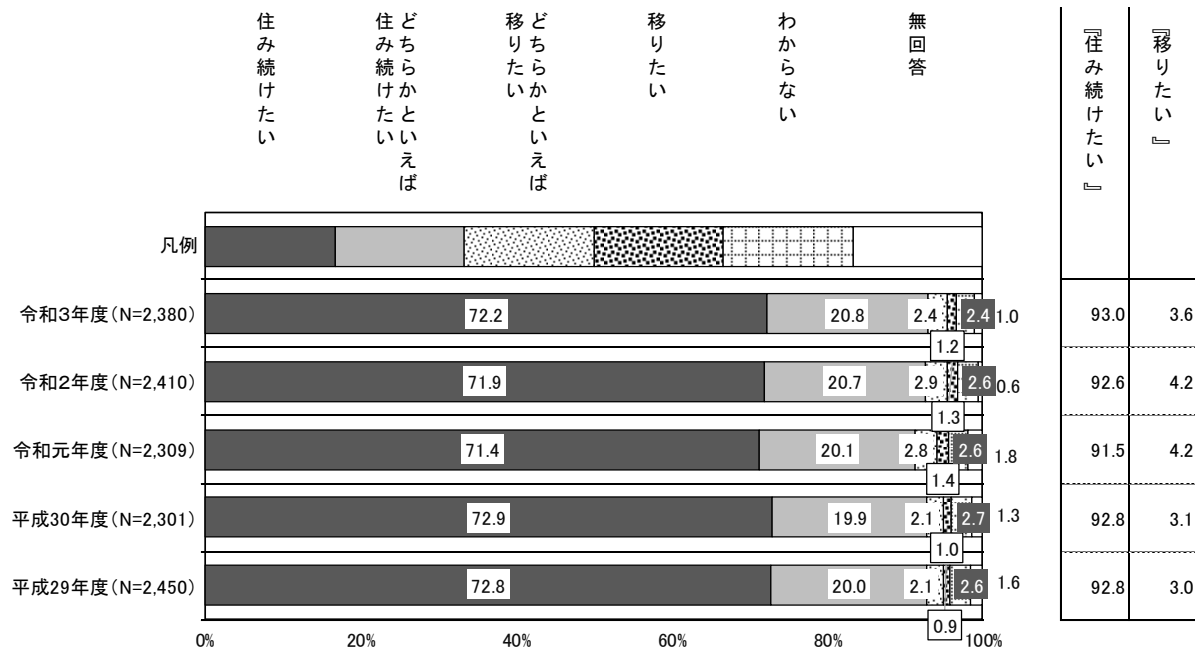
「福岡市が住みやすい」についても、肯定派（＝「住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」の計）が96.5%と高く、そのうち積極的肯定の「住みやすい」が74.5%と、前年度同様高い水準となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【過去の調査との比較】



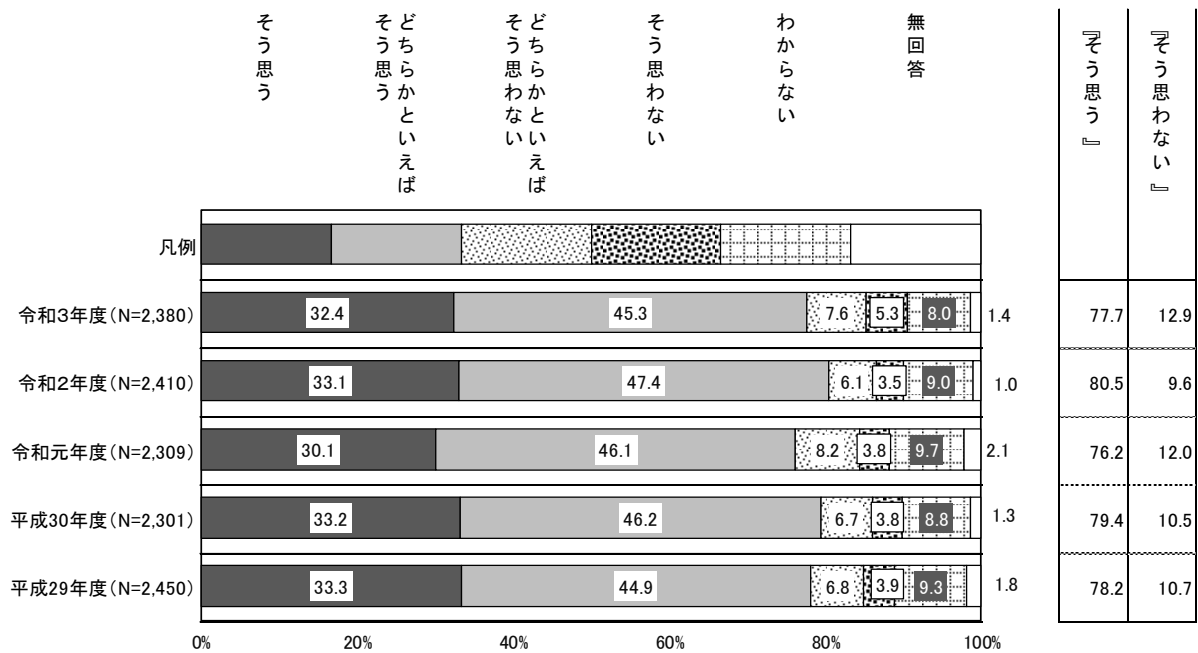
「福岡市にずっと住み続けたい」も、一貫して高い水準で推移しており、肯定派（＝「住み続けたい」＋「どちらかといえば住み続けたい」の計）が93.0%と、過去最高となった。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【過去の調査との比較】



「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」は、肯定派（＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の計）が8割近く（77.7%）を占め、前年度からはわずかに低下したものの、高い水準を維持している。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか
【過去の調査との比較】



以上のように、4指標は、例年同様の高い水準で推移しており、「ずっと住みたい」が過去最高となるなど、多くの市民が、心の豊かさや生活の質の高さに満足していることの表れといえる。

(2) 福岡市の都市環境などの満足度（問5）

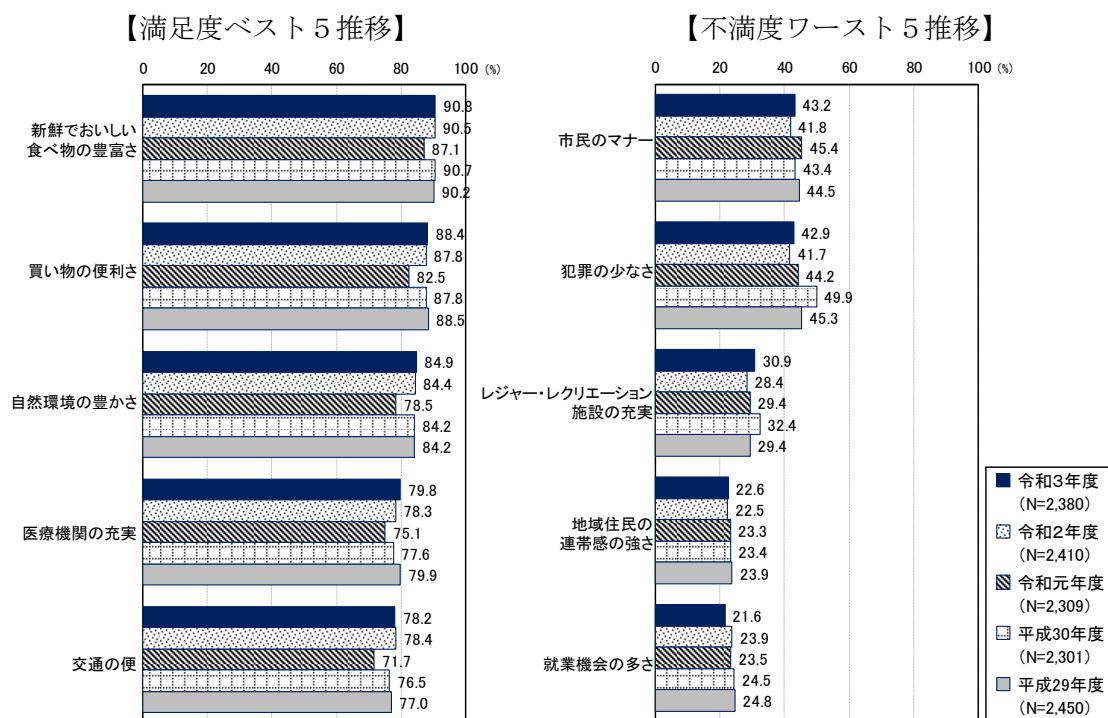
福岡市の都市環境などについて、「満足度」（＝「満足している」＋「どちらかといえば満足」の計）及び「不満度」（＝「不満がある」＋「どちらかといえば不満」の計）の特徴と経年推移について述べる。「満足度」については、80%を超えた「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」「買い物の便利さ」「自然環境の豊かさ」に、「医療機関の充実」「交通の便」を加えた5項目が、上位である。昨年度新たに上位5項目に入った「医療機関の充実」が今年度は順位を上げ4位となった。昨年度は上位5項目全てで満足度が上昇したが、今年度も昨年度とほぼ同水準を維持している。

「不満度」が高いものは、「市民のマナー」「犯罪の少なさ」「レジャー・レクリエーション施設の充実」「地域住民の連帯感の強さ」「就業機会の多さ」で、前年度とほぼ同様の結果である。今年度は、「就業機会の多さ」が昨年度から改善（不満度が低下）している。

満足度の上位5項目以外では、ほとんどの項目で昨年度と同水準を維持しているが、「自然災害の少なさ」（+5.3）は特に上昇している。

不満度の下位5項目以外では、昨年度からやや改善（低下）した項目が多いが、満足度が大きく上昇した「自然災害の少なさ」は、不満度の低下（-5.3）も大きい。令和2年度は、福岡市では、7月などに大雨や土砂災害に関する警戒情報が度々出されたのに対し、令和3年度は、調査時期まで同様の警戒情報の発出は少なかったことから、改めて、自然災害が少ないと感じる人が増えたとも考えられる。

図表 都市環境などについての満足度推移



(3) 「福岡市の都市環境などの満足度」と「好き」「住みやすい」との相関分析

「福岡市の都市環境などの満足度」と「福岡市が好き」「福岡市は住みやすい」について、それぞれ相関係数（下枠参照）をもとに、相関分析を行い、それぞれの評価との関係性について考察した。

※相関係数：2つのデータがどれだけ関連性があるのかを示す係数で、-1～+1の間の数値となる。
関連性が強ければ1に近づき、弱ければ0に近づく。逆に、正反対の動きであれば-1に近づく。

「福岡市の都市環境などの満足度」と「福岡市が好き」において、最も相関係数が高いのは、前年度同様「人の親切や人情味」で、0.364の正の相関を示している。このほか「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」(0.329)も相関係数0.3を超えている。

「人の親切や人情味」は、満足度、不満度とも上位項目には出てこないものの、コロナ禍で人と触れ合う機会が減少する状況の中で、改めて重要性が認識された可能性がある。平成28年度調査でも「人の親切や人情味」(0.329)の相関係数が最も高かったが、令和3年度はそれを上回った。

図表 『好き』と「都市環境などの満足度」の相関係数と都市環境などの満足度
【過去の調査との比較】

項目	相関係数 (問1と問5)		満足度(%) (問5)	
	令和3年度	平成28年度	令和3年度	平成28年度
人の親切や人情味	0.364	0.329	77.0	78.6
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.329	0.319	90.8	90.3
住宅事情	0.269	0.231	75.5	73.6
地域住民の連帯感の強さ	0.261	0.235	51.9	53.1
自然環境の豊かさ	0.257	0.319	84.9	83.3
教育環境	0.254	0.241	62.0	59.1
医療機関の充実	0.236	0.183	79.8	77.8
子育てのしやすさ	0.227	0.247	56.2	50.9
買い物の便利さ	0.227	0.189	88.4	87.0
福祉の充実	0.221	0.198	53.8	46.3
交通の便	0.216	0.186	78.2	76.1
市民のマナー	0.212	0.220	46.3	44.5
就業機会の多さ	0.207	0.155	50.6	43.7
物価の安さ	0.198	0.204	72.2	68.1
芸術・文化水準	0.192	0.212	63.4	64.7
犯罪の少なさ	0.161	0.147	40.7	37.2
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.161	0.144	52.1	51.5
自然災害の少なさ	0.115	0.123	77.0	75.9

「福岡市の都市環境などの満足度」と「福岡市は住みやすい」の相関関係をみると、「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」(0.348)、「人の親切や人情味」(0.324)、「住宅事情」(0.315)の相関係数が上位となっている。「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」と「人の親切や人情味」はともに、「福岡市が好き」との相関関係でも上位である。

このほか、「教育環境」(0.290)、「子育てのしやすさ」(0.284)も相関係数が高く、特に子どものいる市民にとって、住みやすさとの相関関係があると考えられる。

食の充実や人の優しさなど、市民の心情に影響する項目の相関係数が、住宅事情や交通・買い物の利便性などの都市環境に関する項目の相関係数より高い傾向にあり、住みやすさとの相関が強いことがわかる。

平成28年度調査と比較すると、平成28年度調査では相関係数が0.3を超えたものはなかったが、令和3年度調査では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」「人の親切や人情味」「住宅事情」が0.3を上回った。

図表 『住みやすい』と「都市環境などの満足度」の相関係数と都市環境などの満足度
【過去の調査との比較】

項目	相関係数 (問2と問5)		満足度(%) (問5)	
	令和3年度	平成28年度	令和3年度	平成28年度
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.348	0.293	90.8	90.3
人の親切や人情味	0.324	0.288	77.0	78.6
住宅事情	0.315	0.280	75.5	73.6
教育環境	0.290	0.265	62.0	59.1
子育てのしやすさ	0.284	0.289	56.2	50.9
地域住民の連帯感の強さ	0.276	0.248	51.9	53.1
交通の便	0.274	0.252	78.2	76.1
買い物の便利さ	0.274	0.244	88.4	87.0
自然環境の豊かさ	0.270	0.281	84.9	83.3
医療機関の充実	0.257	0.179	79.8	77.8
福祉の充実	0.242	0.245	53.8	46.3
就業機会の多さ	0.240	0.189	50.6	43.7
市民のマナー	0.234	0.260	46.3	44.5
物価の安さ	0.218	0.230	72.2	68.1
芸術・文化水準	0.214	0.190	63.4	64.7
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.193	0.138	52.1	51.5
犯罪の少なさ	0.178	0.179	40.7	37.2
自然災害の少なさ	0.124	0.163	77.0	75.9

2. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果

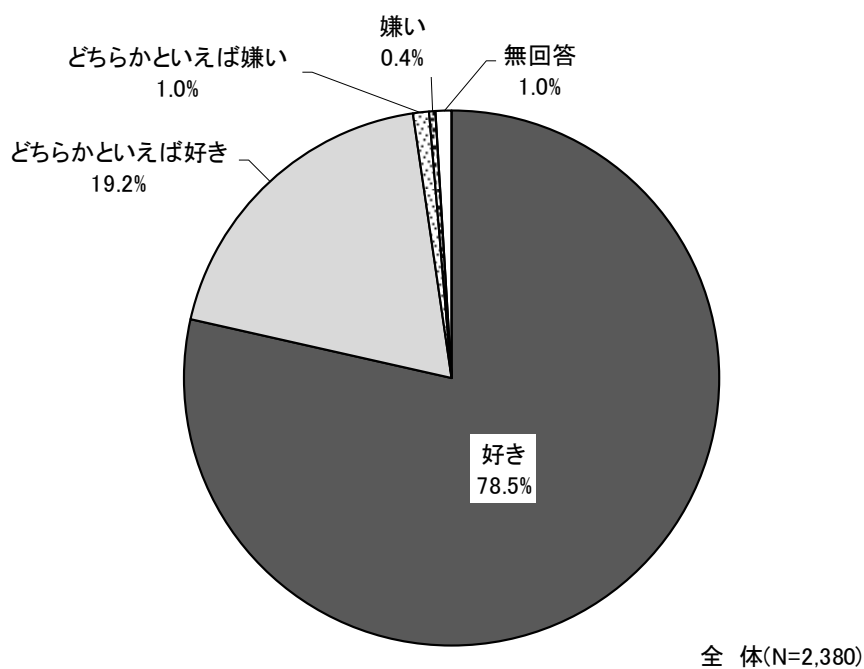
(1) 福岡市が好きか

問1 あなたは、福岡市が好きですか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

福岡市が好きかについて聞いたところ、「好き」が78.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば好き」(19.2%)となっている。

また、『好き』(=「好き」+「どちらかといえば好き」)の割合は97.7%で9割台後半となっている。一方、『嫌い』(=「嫌い」+「どちらかといえば嫌い」)の割合は1.4%となっている。

図表 福岡市が好きか【全体】

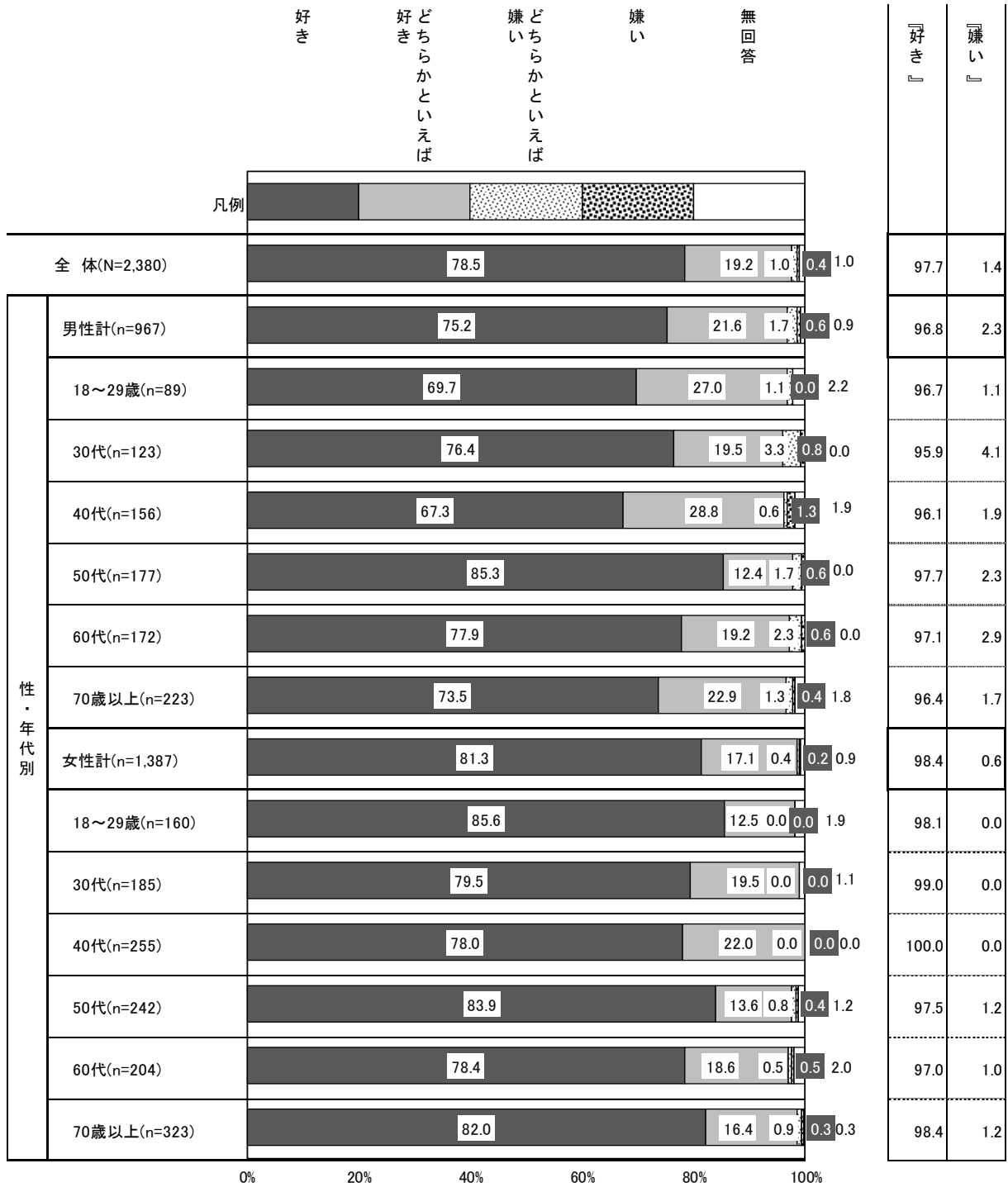


『好き』	97.7%
『嫌い』	1.4%

性別にみると、男女ともに『好き』の割合が9割を超えている。

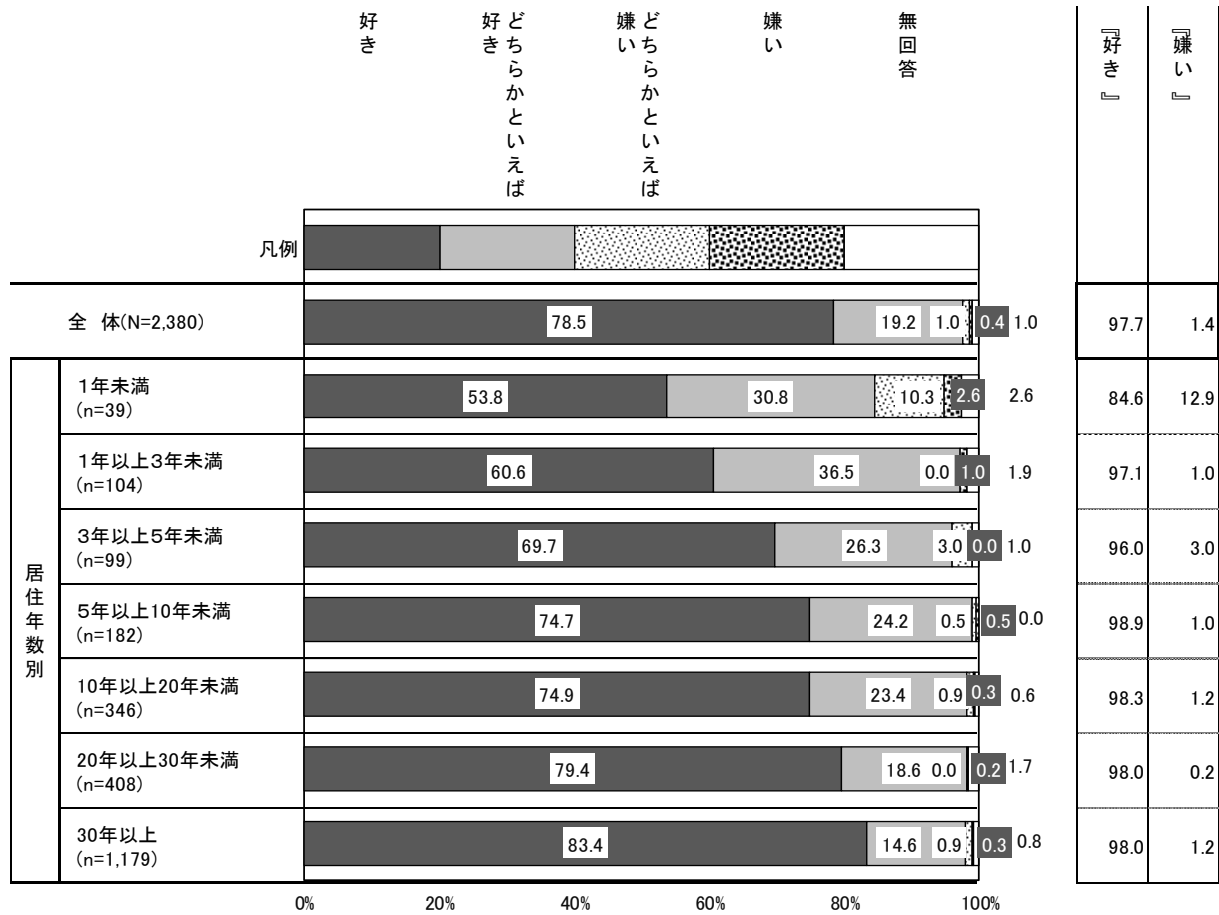
性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『好き』の割合が9割を超えている。その内訳をみると、男性50代、女性18～29歳・50代・70歳以上で「好き」が8割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市が好きか【性・年代別】



居住年数別にみると、居住年数が長いほど「好き」の割合が高くなっており、30年以上では「好き」の割合が83.4%と最も高くなっている。

図表 福岡市が好きか【居住年数別】



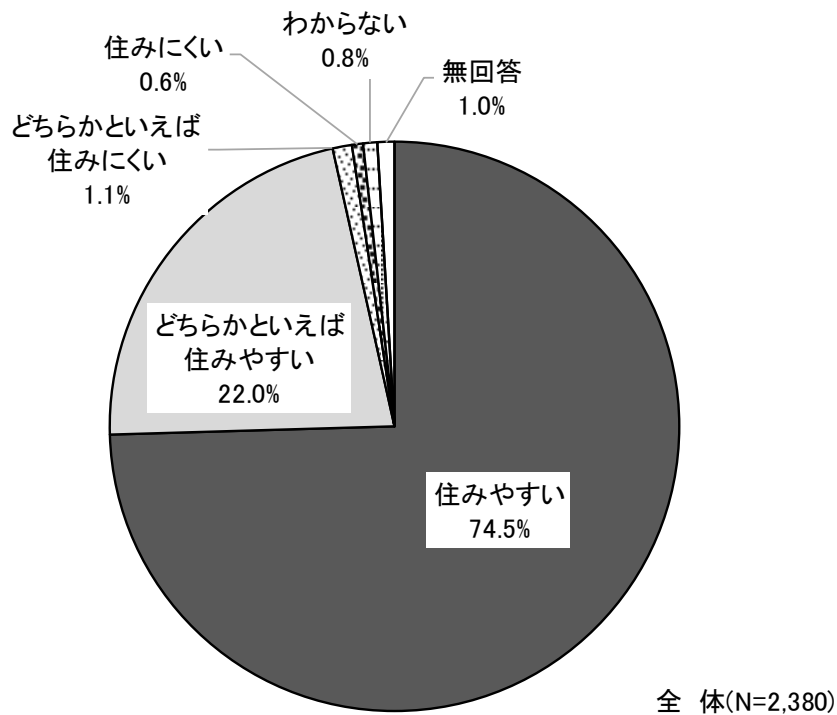
(2) 福岡市は住みやすいと思うか

問2 総合的にみて、福岡市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

総合的にみて、福岡市は住みやすいと思うかについて聞いたところ、「住みやすい」が 74.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば住みやすい」(22.0%)となっている。

また、『住みやすい』(=「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」)の割合は 96.5%で9割後半となっている。一方、『住みにくい』(=「住みにくい」+「どちらかといえば住みにくい」)の割合は1.7%となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【全体】

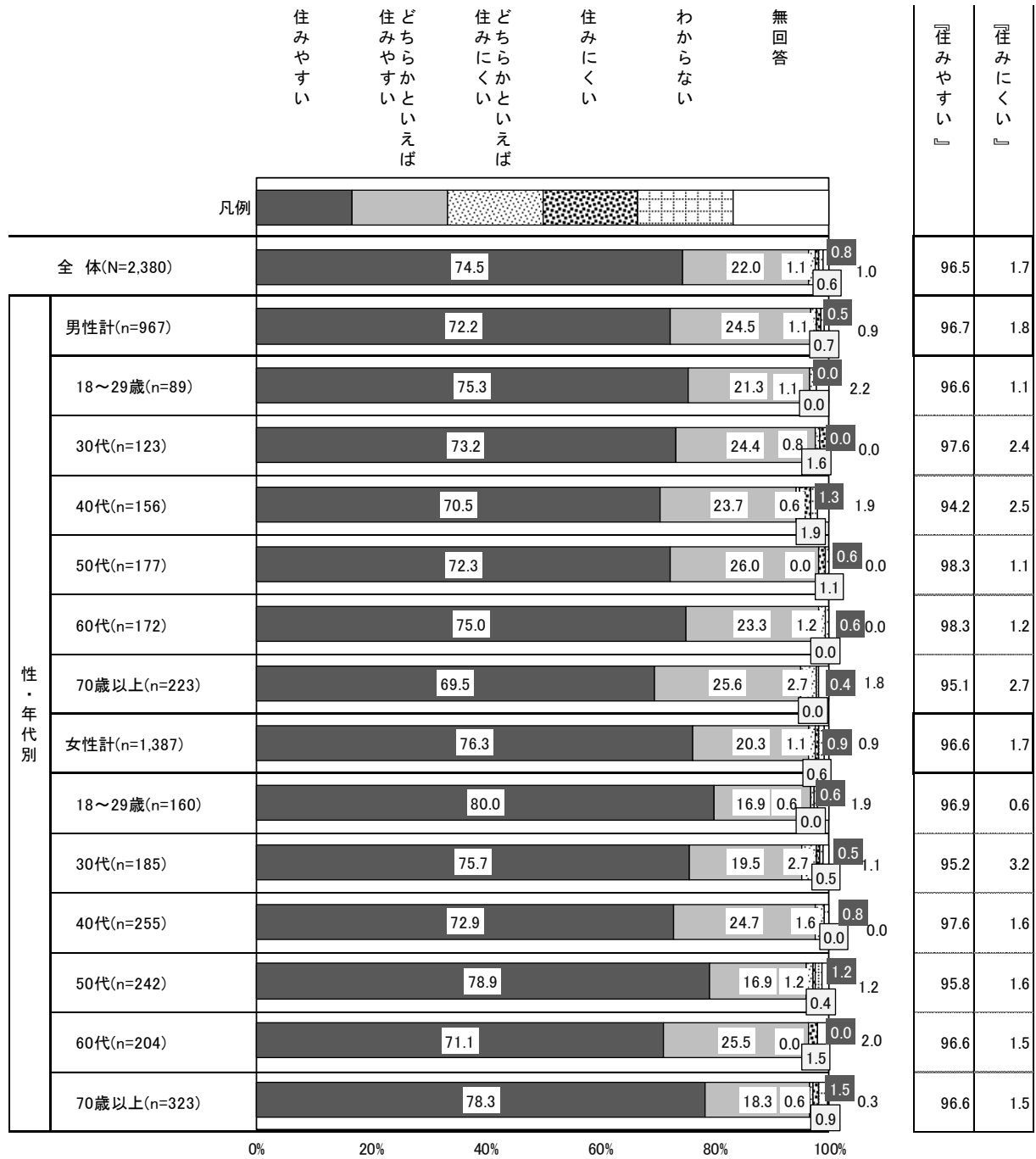


『住みやすい』	96.5%
『住みにくい』	1.7%

性別にみると、男女ともに『住みやすい』の割合が9割を超えている。

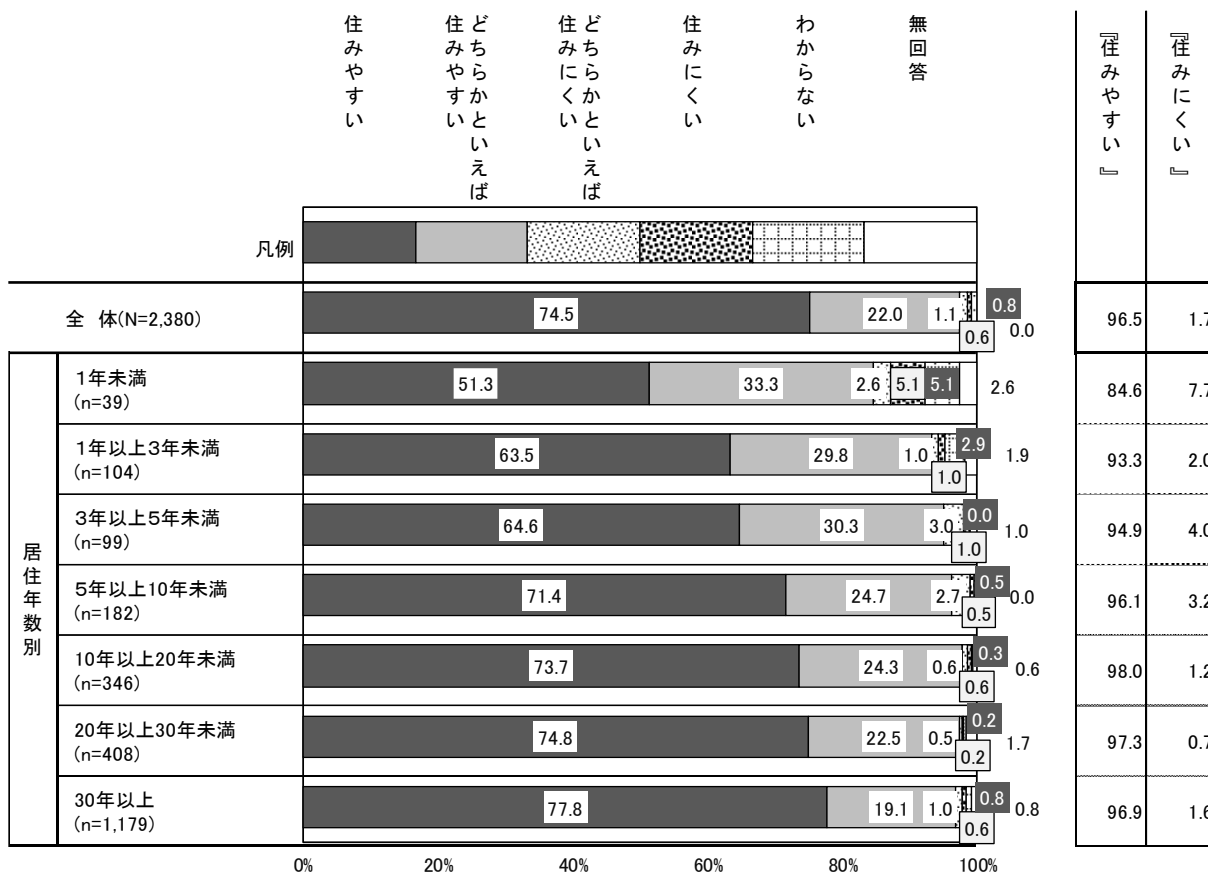
性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『住みやすい』の割合が9割を超えている。その内訳をみると、女性 18～29 歳で「住みやすい」が 80.0%となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、居住年数が長いほど「住みやすい」の割合が高くなっており、30年以上では「住みやすい」が77.8%と最も高くなっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【居住年数別】



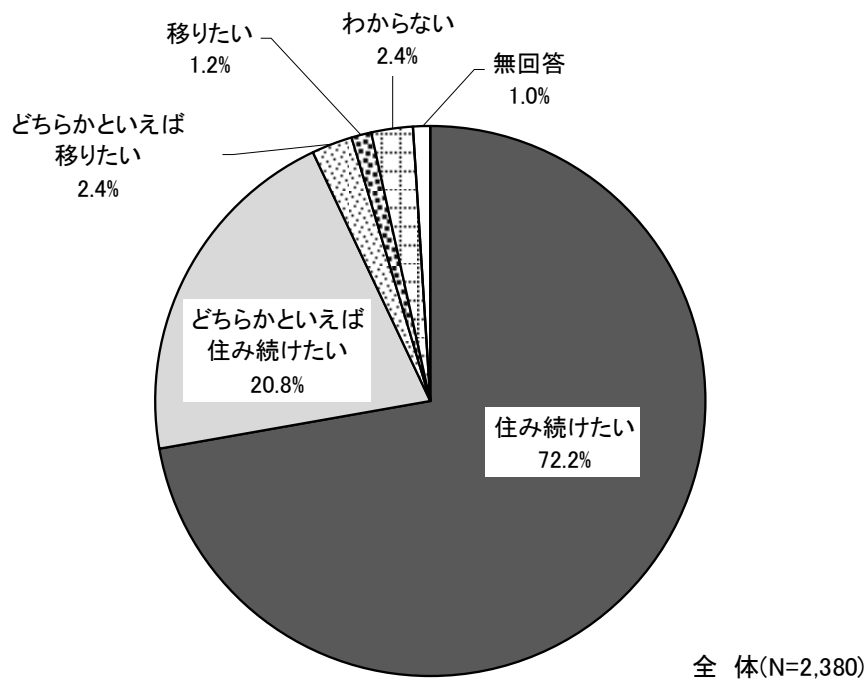
(3) 福岡市にずっと住み続けたいと思うか

問3 あなたは、事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思うかについて聞いたところ、「住み続けたい」が72.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」(20.8%)となっている。

また、『住み続けたい』(=「住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」)の割合は93.0%となっている。一方、『移りたい』(=「移りたい」+「どちらかといえば移りたい」)の割合は3.6%となっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【全体】

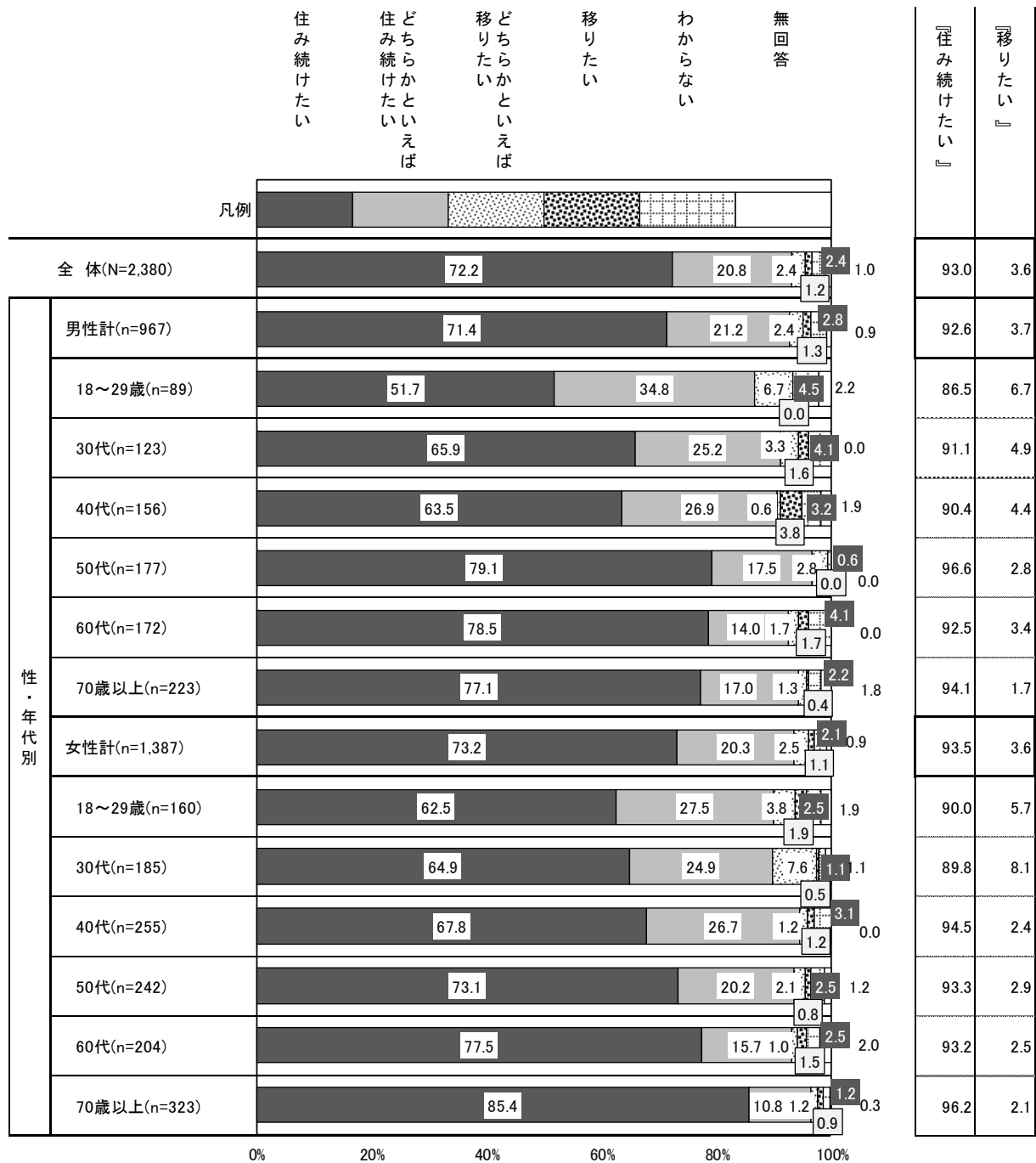


『住み続けたい』	93.0%
『移りたい』	3.6%

性別にみると、男女ともに『住み続けたい』の割合が9割を超えている。

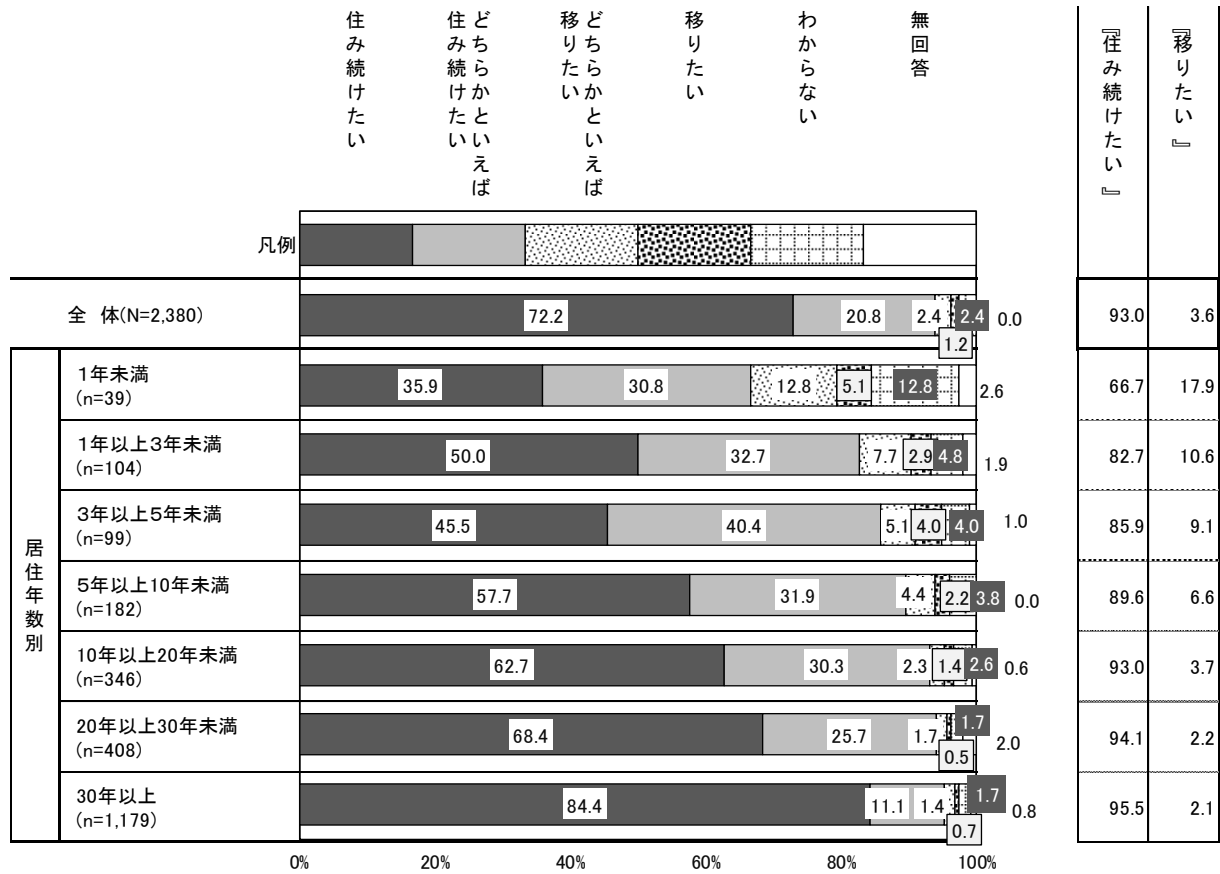
性・年代別にみると、男性 18～29 歳、女性 30 代で『住み続けたい』の割合が8割台となっており、他の性・年代に比べて低くなっている。また、女性では年代が高くなるほど「住み続けたい」の割合が高くなっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、『住み続けたい』の割合は、居住年数が長くなるほど高くなっており、30年以上では95.5%と最も高くなっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【居住年数別】



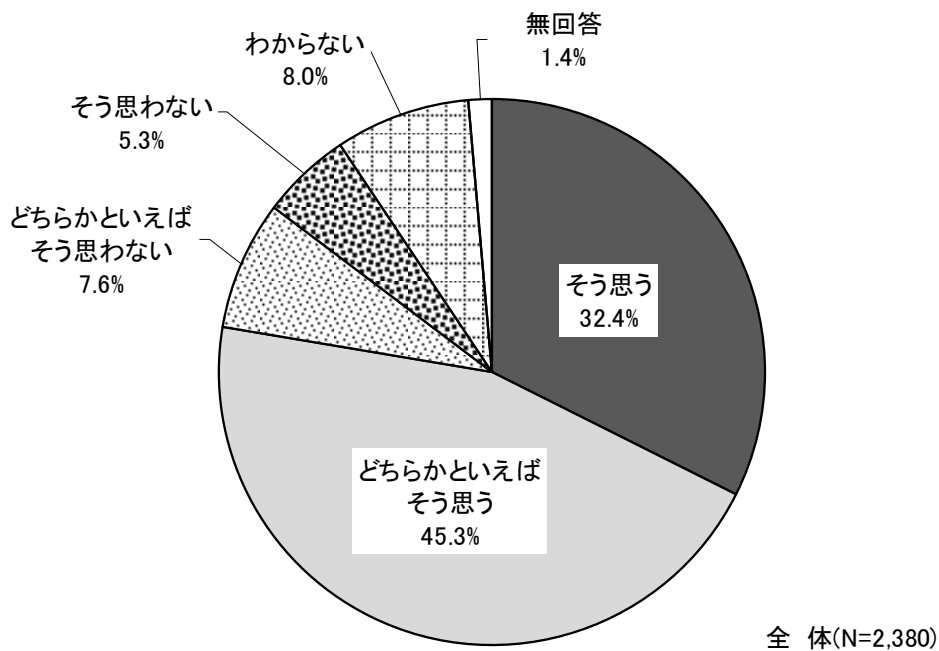
(4) 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか

問4 あなたは、福岡市で暮らす人や福岡市を訪れる人のために、何か役に立ちたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うかについて聞いたところ、「どちらかといえ
ばそう思う」が45.3%と最も多く、次いで「そう思う」(32.4%)となっている。

また、『そう思う』(=「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合は77.7%となっ
ている。一方、『そう思わない』(=「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)の割
合は12.9%となっている。

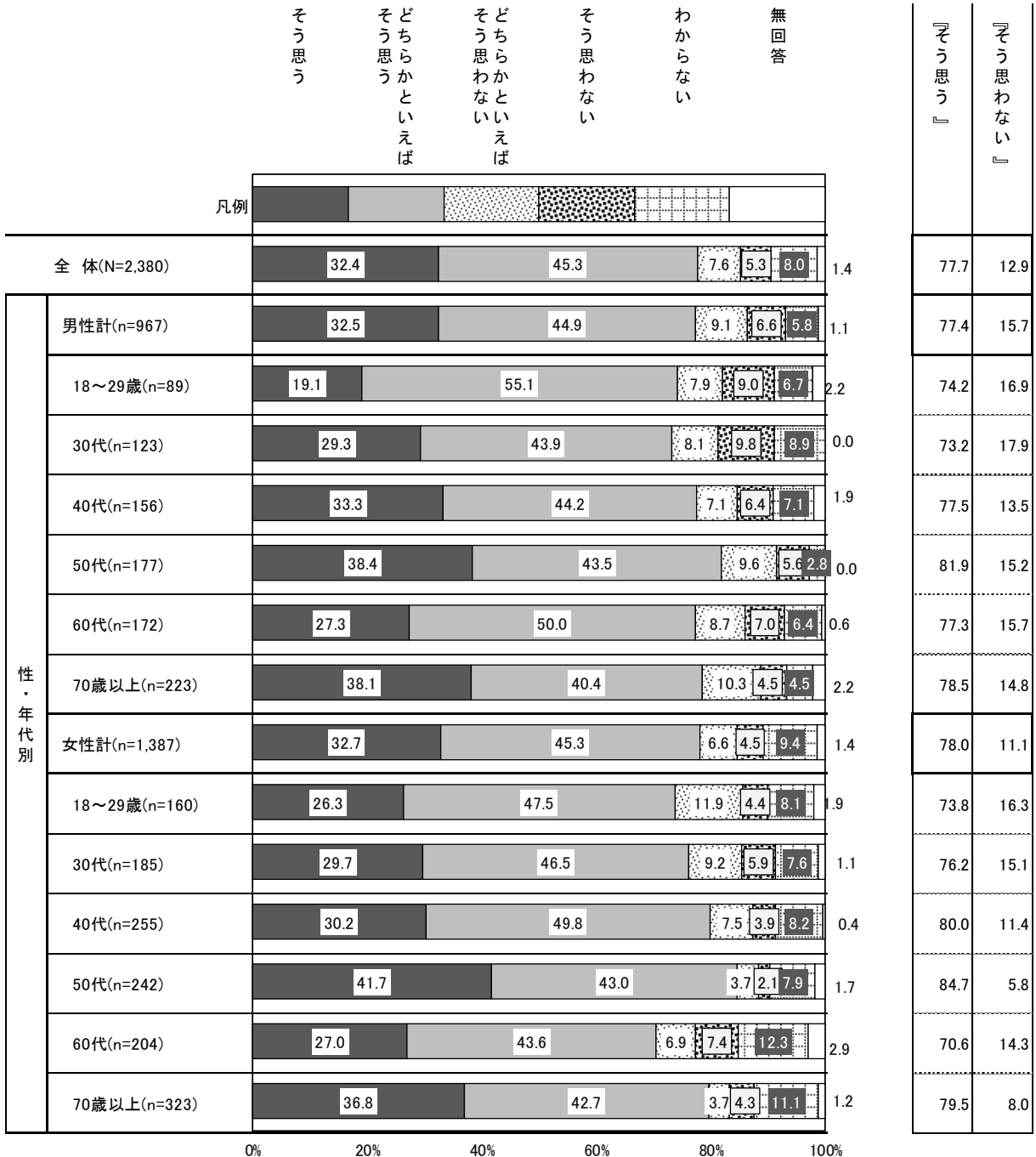
図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【全体】



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性 50 代、女性 40 代・50 代では、『そう思う』の割合が 8 割台となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【性・年代別】



(5) 福岡市の都市環境などに関する満足度

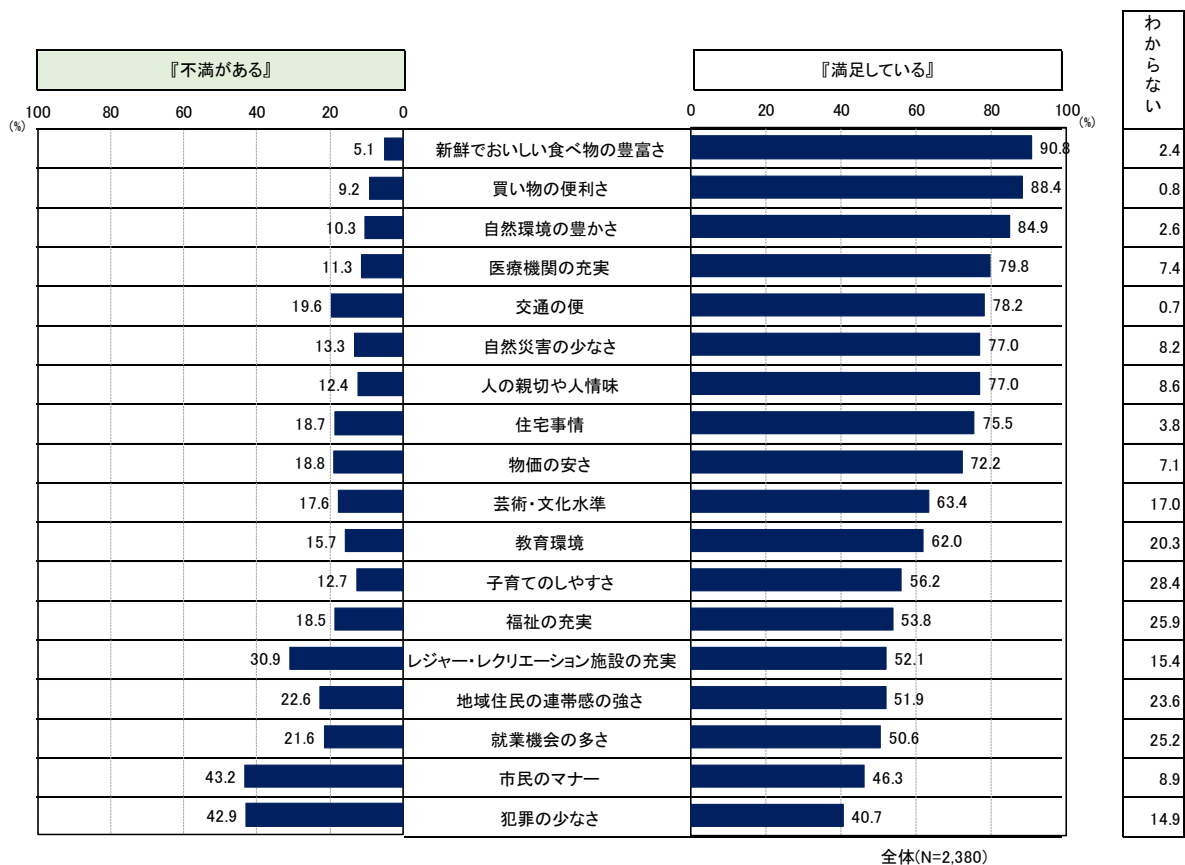
問5 以下の福岡市の都市環境などについて、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。(1)～(18)のそれぞれについて、あてはまるものを**1つつ**選び、番号に○をつけてください。

福岡市の都市環境などで、『満足している』(=「満足している」+「どちらかといえば満足」)は「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」が90.8%と最も多く、次いで「買い物の便利さ」(88.4%)、「自然環境の豊かさ」(84.9%)となっている。

一方、『不満がある』(=「不満がある」+「どちらかといえば不満」)は「市民のマナー」が43.2%と最も多く、次いで「犯罪の少なさ」(42.9%)、「レジャー・レクリエーション施設の充実」(30.9%)となっている。

また、「わからない」は「子育てのしやすさ」が28.4%と最も多く、次いで「福祉の充実」(25.9%)、「就業機会の多さ」(25.2%)となっている。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度【全体】



福岡市の都市環境などで『満足している』点について、性別にみると、男女ともに「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」（男性：90.7%、女性：91.0%）の満足度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男性18～29歳では「交通の便」、男性60代、女性18～29歳・30代では「買い物の便利さ」、男性70歳以上では「自然災害の少なさ」、女性70歳以上では「自然環境の豊かさ」、それ以外の年代では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」の満足度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『満足している』点【性・年代別】

単位：%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,380	84.9 (3位)	75.5	78.2 (5位)	88.4 (2位)	72.2	90.8 (1位)	63.4	62.0	56.2
男性計	967	83.7 (3位)	75.2	78.2	90.1 (2位)	69.9	90.7 (1位)	63.3	64.1	59.5
18～29歳	89	79.8	84.3 (4位)	91.1 (1位)	91.0 (2位)	67.4	85.4 (3位)	58.4	58.4	33.7
30代	123	78.1 (5位)	75.6	78.9 (4位)	90.3 (2位)	63.4	91.1 (1位)	51.2	59.4	54.4
40代	156	84.0 (3位)	67.3	73.0	92.3 (2位)	61.6	92.9 (1位)	60.2	58.4	57.1
50代	177	81.3 (3位)	74.0	75.1	90.4 (2位)	74.6	95.5 (1位)	65.0	61.0	62.8
60代	172	90.1 (3位)	75.0	79.6	93.1 (1位)	75.0	92.4 (2位)	71.0	75.6	69.7
70歳以上	223	86.1 (2位)	78.1	77.1	85.2 (4位)	73.1	85.7 (3位)	67.7	65.9	63.2
女性計	1,387	85.8 (3位)	75.7	78.2 (5位)	87.3 (2位)	73.9	91.0 (1位)	63.7	60.4	53.8
18～29歳	160	77.5 (4位)	73.8	84.4 (3位)	93.2 (1位)	68.8	89.4 (2位)	60.6	55.7	35.1
30代	185	84.3 (3位)	69.8	81.1 (4位)	95.1 (1位)	72.9	90.8 (2位)	62.1	57.3	50.8
40代	255	86.3 (3位)	73.3	77.3	90.6 (2位)	79.6 (5位)	92.1 (1位)	64.7	60.4	55.7
50代	242	91.0 (3位)	79.7	80.2 (5位)	92.6 (2位)	80.1	97.2 (1位)	64.5	59.1	56.2
60代	204	87.2 (2位)	78.9	73.5	83.3 (3位)	74.5	93.1 (1位)	64.2	60.7	56.4
70歳以上	323	85.4 (1位)	76.5	76.1	76.8	67.2	85.2 (2位)	64.1	65.3	59.5

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	充実にレジャー・施設のリ	
50.6	79.8 (4位)	53.8	77.0	51.9	77.0	40.7	46.3	52.1	全体
52.6	81.2 (4位)	58.9	76.4	51.0	79.5 (5位)	42.6	44.0	53.0	男性計
55.0	83.2 (5位)	55.0	66.3	48.4	75.3	37.1	39.3	59.5	18～29歳
50.4	81.3 (3位)	61.0	72.3	41.5	73.1	39.0	41.5	59.4	30代
43.0	77.5 (4位)	48.1	73.7 (5位)	45.5	72.4	32.6	35.9	39.8	40代
57.7	77.4 (5位)	50.8	79.1 (4位)	50.8	74.0	36.2	38.5	49.7	50代
58.2	86.0 (5位)	65.7	83.1	57.5	87.8 (4位)	46.0	49.4	53.5	60代
52.9	84.3 (5位)	69.0	77.6	57.0	88.7 (1位)	57.4	53.3	58.8	70歳以上
49.2	78.8 (4位)	50.2	77.5	52.6	75.2	39.1	47.9	51.4	女性計
45.7	75.1 (5位)	41.3	71.9	36.9	73.8	31.9	55.0	49.4	18～29歳
56.2	78.4 (5位)	43.8	74.1	44.3	65.4	29.2	41.1	57.3	30代
56.9	80.8 (4位)	47.4	79.2	58.5	68.7	29.0	47.0	52.1	40代
49.6	78.1	44.6	83.9 (4位)	56.2	73.2	35.1	47.5	48.8	50代
43.7	79.4 (5位)	51.9	76.4	51.0	80.9 (4位)	38.2	45.1	47.1	60代
44.0	79.2 (4位)	63.8	77.4 (5位)	58.8	85.1 (3位)	59.8	51.4	53.3	70歳以上

福岡市の都市環境などで『満足している』点について、行政区別にみると、東区、南区、西区では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」、博多区、中央区、城南区では「買い物の便利さ」、早良区では「自然環境の豊かさ」の満足度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『満足している』点【行政区別】

単位: %

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,380	84.9	75.5	78.2	88.4	72.2	90.8	63.4	62.0	56.2
東区	501	84.2	75.3	80.0	86.4	76.1	90.8	63.9	60.3	56.3
博多区	325	73.8	69.6	77.0	87.4	69.5	85.8	61.9	58.2	46.5
中央区	279	85.0	78.5	88.5	94.9	73.5	94.0	67.7	65.9	54.4
南区	398	86.4	76.7	75.1	84.2	67.3	90.9	63.9	63.9	58.8
城南区	203	84.7	75.9	71.0	94.1	74.9	92.1	63.1	67.9	63.5
早良区	324	92.0	78.1	78.4	88.6	73.4	91.4	66.7	63.9	59.6
西区	325	88.7	76.0	76.0	89.0	71.4	92.0	58.4	57.2	55.7

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
50.6	79.8	53.8	77.0	51.9	77.0	40.7	46.3	52.1	全体
50.1	77.7	53.7	75.1	50.7	77.9	37.3	47.3	54.3	東区
47.7	71.3	51.7	73.8	49.2	75.4	37.9	40.6	49.5	博多区
58.7	82.5	52.0	80.7	52.3	79.5	40.9	51.2	53.0	中央区
52.3	82.6	51.7	78.3	55.6	76.4	44.7	48.0	50.3	南区
56.1	82.8	60.6	80.3	52.7	78.8	43.8	45.8	52.2	城南区
50.0	83.7	53.7	79.3	54.1	77.5	37.0	45.7	52.5	早良区
43.7	80.6	56.6	75.1	50.2	75.0	44.9	45.8	52.6	西区

福岡市の都市環境などで『不満がある』点について、性別にみると、男性は「市民のマナー」(47.6%)、女性は「犯罪の少なさ」(41.5%)の不満度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男性50代・60代、女性18歳～50代では「犯罪の少なさ」、男性50代以外、女性60代以上では「市民のマナー」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『不満がある』点【性・年代別】

単位: %

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,380	10.3	18.7	19.6	9.2	18.8	5.1	17.6	15.7	12.7
男性計	967	11.9	19.7	19.8	7.5	22.3	5.7	19.3	16.7	13.7
18～29歳	89	12.3	7.8	6.8	5.6	22.5 (5位)	10.1	18.0	15.7	12.4
30代	123	14.7	18.7	19.5	8.1	30.1 (4位)	5.7	21.1	18.7	14.6
40代	156	12.8	28.9	25.7	5.8	29.5 (4位)	4.5	21.2	20.5	16.0
50代	177	14.7	24.3	23.7	8.5	22.1	4.0	22.5	23.2	18.1
60代	172	9.3	21.5	19.2	5.3	20.3	5.3	19.8	12.2	12.2
70歳以上	223	8.1	13.9	18.8 (5位)	10.3	14.8	6.7	13.0	11.2	9.0
女性計	1,387	9.2	18.0	19.4 (5位)	10.2	16.2	4.6	16.5	14.9	12.1
18～29歳	160	16.3	16.3	14.4	5.0	15.7	5.7	13.8	13.7	8.8
30代	185	11.8	25.9 (4位)	17.3	4.3	20.5 (5位)	5.4	15.1	15.2	14.6
40代	255	10.2	22.8 (5位)	20.8	7.5	13.0	3.5	20.4	20.0	16.9
50代	242	6.6	14.9	18.6	6.2	14.9	1.6	22.7	19.8	13.3
60代	204	7.4	17.2	24.0 (4位)	14.7	19.2	2.9	14.7	11.7	10.3
70歳以上	323	6.5	14.0	19.5 (4位)	18.2	16.7	8.1	12.0	10.3	8.6

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	エレベーター・施設の充実	
21.6 (5位)	11.3	18.5	12.4	22.6 (4位)	13.3	42.9 (2位)	43.2 (1位)	30.9 (3位)	全体
23.5 (5位)	11.5	19.0	14.4	27.4 (4位)	13.3	45.6 (2位)	47.6 (1位)	34.9 (3位)	男性計
19.1	4.5	7.8	20.2	23.6 (4位)	18.0	45.0 (2位)	49.4 (1位)	25.9 (3位)	18～29歳
23.6	11.3	8.9	18.7	30.0 (5位)	18.7	50.4 (2位)	52.8 (1位)	32.6 (3位)	30代
29.5 (4位)	12.9	20.5	14.8	25.0	18.5	56.4 (2位)	57.7 (1位)	43.6 (3位)	40代
23.8	15.3	27.1 (5位)	11.3	27.7 (4位)	17.0	54.2 (1位)	52.6 (2位)	40.6 (3位)	50代
27.4 (5位)	11.0	22.7	12.2	29.1 (4位)	7.0	43.6 (1位)	43.6 (1位)	37.8 (3位)	60代
16.6	9.0	17.9	13.0	26.0 (3位)	5.4	29.6 (2位)	35.0 (1位)	26.0 (3位)	70歳以上
20.6 (4位)	11.2	18.2	11.0	19.4 (5位)	13.4	41.5 (1位)	40.2 (2位)	28.5 (3位)	女性計
20.0 (4位)	8.1	9.4	11.9	19.4 (5位)	11.9	49.4 (1位)	33.8 (2位)	29.4 (3位)	18～29歳
14.6	8.6	13.5	17.3	20.5 (5位)	20.0	57.3 (1位)	52.4 (2位)	31.4 (3位)	30代
23.9 (4位)	9.8	16.8	10.2	13.8	18.8	52.6 (1位)	44.7 (2位)	31.8 (3位)	40代
24.4 (5位)	13.6	26.0 (4位)	6.6	21.1	16.5	47.9 (1位)	41.7 (2位)	31.4 (3位)	50代
23.6 (5位)	15.2	22.5	11.2	22.1	9.8	36.8 (2位)	42.7 (1位)	29.9 (3位)	60代
16.7	11.5	18.5 (5位)	10.2	20.4 (3位)	5.9	18.0	30.3 (1位)	20.8 (2位)	70歳以上

福岡市の都市環境などで『不満がある』点について、行政区別にみると、博多区、南区、城南区、西区では「市民のマナー」、東区、中央区、早良区では「犯罪の少なさ」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『不満がある』点【行政区別】

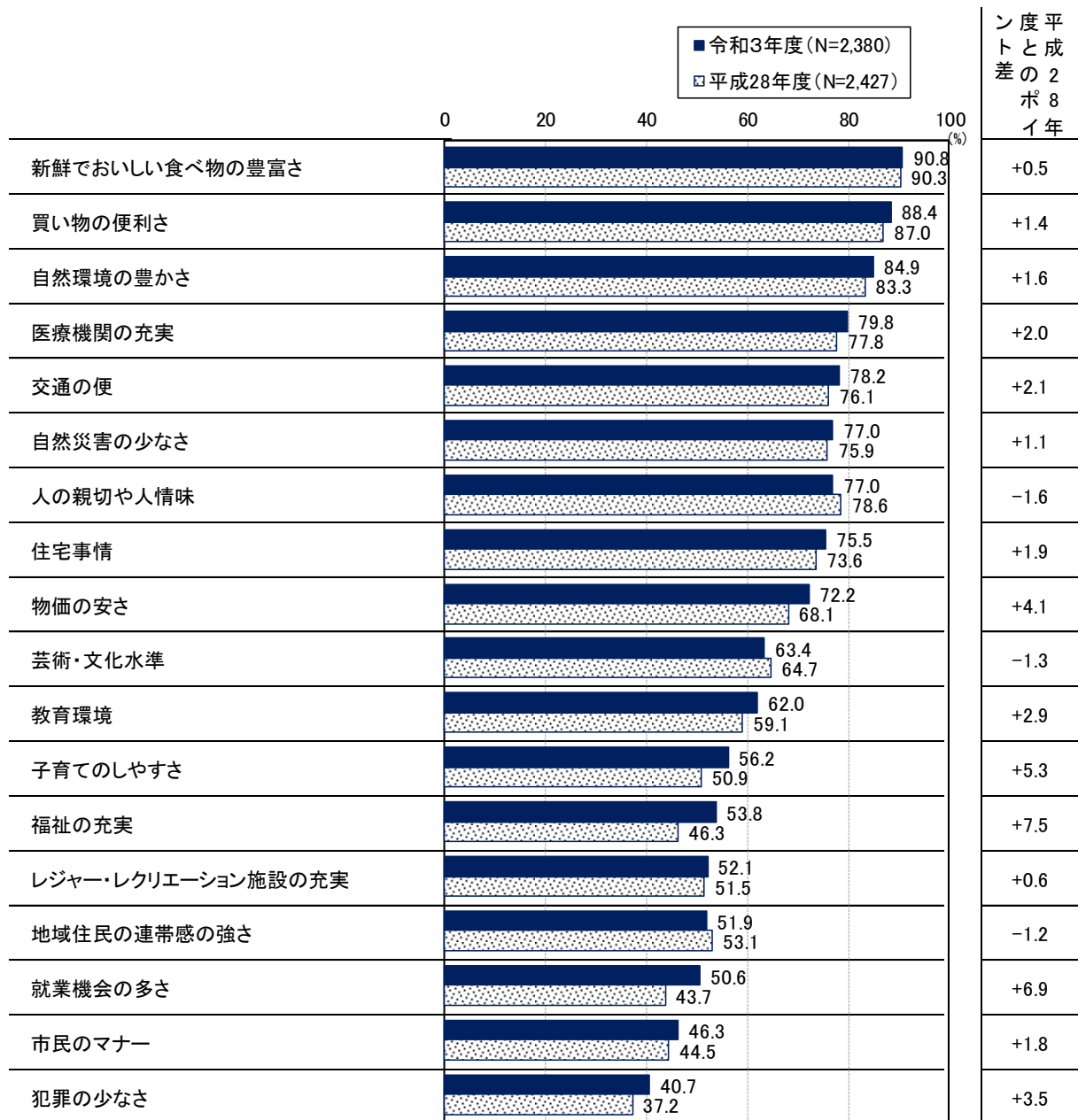
単位：%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,380	10.3	18.7	19.6	9.2	18.8	5.1	17.6	15.7	12.7
東区	501	9.4	18.4	17.8	11.2	15.8	5.8	14.2	14.4	12.8
博多区	325	19.3	22.5	19.7	9.5	19.7	8.0	17.5	14.8	12.3
中央区	279	12.2	18.3	9.7	4.0	20.5	2.6	21.1	17.2	13.6
南区	398	8.5	17.4	23.3	13.1	23.9	6.1	17.4	16.1	15.6
城南区	203	11.9	20.7	26.6	4.4	17.7	3.9	19.7	14.3	8.4
早良区	324	4.6	17.0	19.8	8.9	17.0	4.0	16.6	18.8	13.6
西区	325	7.4	17.0	21.8	8.6	17.5	4.0	19.7	14.2	10.8

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
21.6	11.3	18.5	12.4	22.6	13.3	42.9	43.2	30.9	全体
22.6	13.8	19.4	13.0	22.0	13.0	44.3	40.5	30.0	東区
24.0	15.1	17.9	14.8	22.4	12.6	45.8	49.6	29.2	博多区
16.8	7.5	17.2	10.4	22.6	11.9	44.8	41.6	32.6	中央区
20.6	11.6	21.3	12.8	22.6	13.8	40.4	42.4	33.4	南区
20.7	8.9	12.8	11.4	23.6	13.3	40.9	44.3	32.0	城南区
21.9	8.0	18.2	11.4	22.2	15.7	47.8	43.5	29.0	早良区
24.0	11.7	19.7	12.0	23.4	13.3	37.2	41.9	31.7	西区

満足度について、過去の調査結果と比較すると、令和3年度は平成28年度に比べて、満足度が高くなった項目が15項目、低くなった項目が3項目となっている。平成28年度と比べて特にポイントの差が大きいものについてみると、「福祉の充実」が7.5ポイント増加、次いで「就業機会の多さ」が6.9ポイント増加、「子育てのしやすさ」が5.3ポイントの増加となっている。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度【過去の調査との比較】



不満度について、過去の調査結果と比較すると、令和3年度は平成28年度に比べて、不満度が低くなった項目が16項目、高くなった項目が2項目となっている。平成28年度と比べてポイントの差が大きいものについてみると、「就業機会の多さ」が7.3ポイント減少、「福祉の充実」が6.8ポイント減少、「子育てのしやすさ」が5.9ポイントの減少となっている。

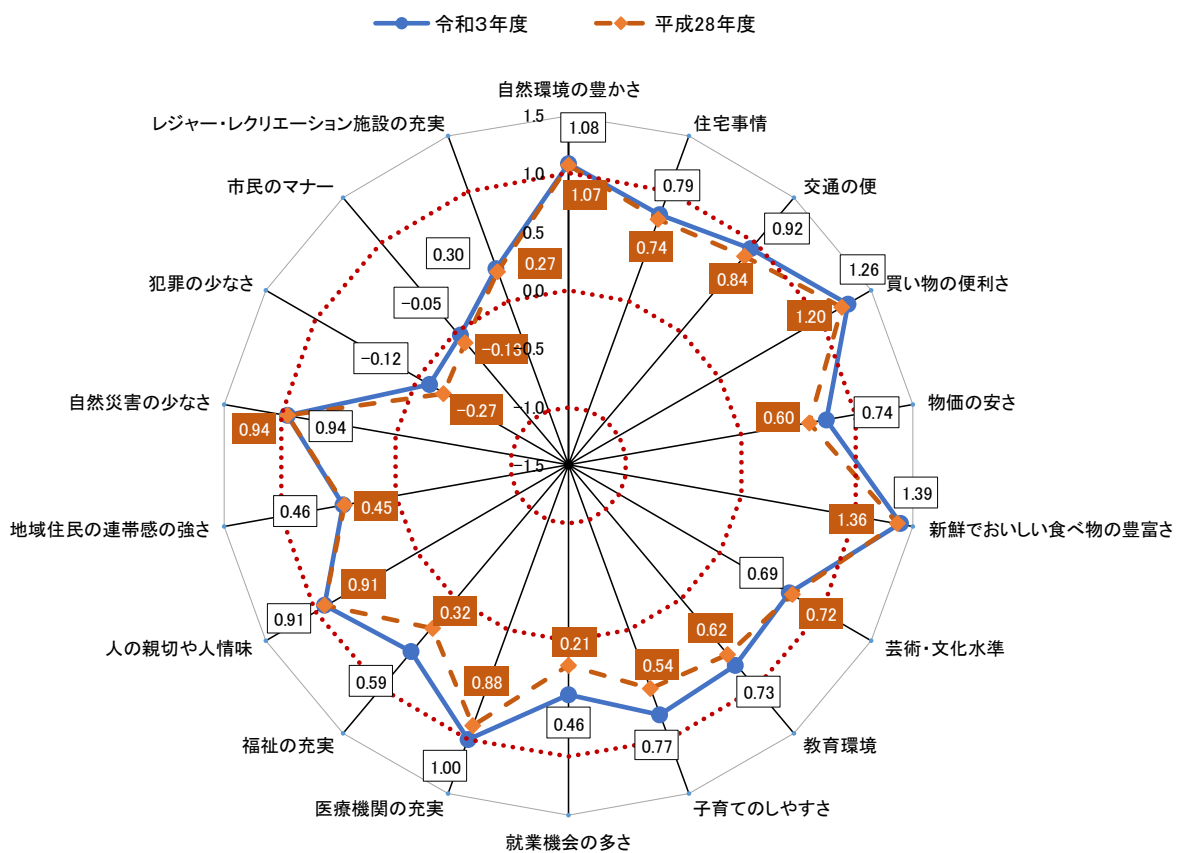
図表 福岡市の都市環境などに関する不満度【過去の調査との比較】



福岡市の都市環境などの満足度について、平均評定値*を過去の調査結果と比較すると、「自然環境の豊かさ」「買い物の便利さ」「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」は平成28年度と令和3年度のどちらも平均評定値が1.00を超えている。一方、「犯罪の少なさ」「市民のマナー」はどちらも平均評定値がマイナスとなっている。

また、令和3年度は平成28年度と比べ、18項目中15項目でポイントが上がっている。特に「福祉の充実」(+0.27)、「就業機会の多さ」(+0.25)、「子育てのしやすさ」(+0.23)の数値が向上している。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】



※平均評定値について
 イメージ等、通常は数値的に評価することができないものを定量的に評価するため、「満足している」：+2点、「どちらかといえば満足」：+1点、「どちらかといえば不満」：-1点、「不満がある」：-2点と回答を得点化し、この平均を求めたもの。したがって、+2点に近いほど「肯定（好意的）」、逆に-2点に近いほど「否定（非好意的）」であることを示す。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】

単位：点

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
令和3年度	2,380	1.08	0.79	0.92	1.26	0.74	1.39	0.69	0.73	0.77
平成28年度	2,427	1.07	0.74	0.84	1.20	0.60	1.36	0.72	0.62	0.54

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	充実にレジャー・レクリエーション施設の充実	
0.46	1.00	0.59	0.91	0.46	0.94	-0.12	-0.05	0.30	令和3年度
0.21	0.88	0.32	0.91	0.45	0.94	-0.27	-0.13	0.27	平成28年度

※網掛けは「0.00」から最も遠い数値に行っている。